



那須塩原市にあるもう一つの博物館

# 田園空間博物館だより なすの大地

第34号

2019年8月発行

◎当誌は「那須野が原西部田園空間博物館運営協議会」の広報誌です。当運営協議会は「那須野が原西部田園空間博物館」の管理、運営を行っています。

## 「那須野が原西部田園空間博物館」とは

那須野が原西部地区（西那須野地区、塩原の横林・接骨木地区<sup>にわとこ</sup>）の豊かな自然や疏水・開拓にまつわる史跡などを田園空間に広がる展示物（サテライト）に見たてて、『屋根のない博物館』として地域全体をとらえ、その地域に暮らす方々が中心となって保全・復元・活用をはかることで、美しい田園空間の創造と地域の活性化を目指すもので、県内では唯一の博物館です。

総合案内所が、那須野が原博物館に併設されており、パンフレット、大型パネル等により当博物館の案内をしています。

## 1 サテライトについて

サテライトは地域ごとにフットパス（巡回ルート）で結ばれ、ルートを巡って、散策を楽しむことができます。数あるサテライトから今回は3つ紹介します。

### ①石林の曇沼用水玉石積水路（大山地区・石林）



曇沼用水は、当初、大田原城内の飲用水として使用されましたが、現在は農業用水として利用されており、石林地区の人たちの手により玉石を積み上げられた水路が今に至っています。

### ②旧日光北街道わきの道標（南地区・一区町）



道標は一区町地内の原街道と交差するあたりに建っています。文化5年（1808年）に建てられたと思われます。日光北街道は江戸時代の大田原と日光を結ぶ街道でした。

※曇沼用水について、詳しくは4ページに掲載しています。

### ③そすいの郷直売センター（西地区・三区町）

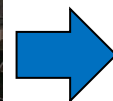
そすいの郷直売センターは、今年の1月に道路の向かい側に新店舗が完成し移転しました。

売り場面積が1.5倍に拡大しました。

地元の農家の方々が作った地場産の安心・安全で新鮮、安価な農産物を消費者に届けることを目的に「ふるさとにしなす産直会」が運営している直売所です。



旧店舗



新店舗

なお、サテライトの詳しい場所については、地域ごとのフットパス（巡回ルート）を示したサテライト地域マップまたはサテライトガイドブックをご覧ください。それぞれ下記の公民館で配布しております。ぜひマップを片手にサテライトを訪れてみてはいかがでしょうか！

- ・サテライト地域マップは地域別に7種類あり、次の公民館でそれぞれ管内のマップを配布しています。
- ・サテライトガイドブックについては、次の公民館および市役所各庁舎（西那須野支所産業観光建設課、本庁農林整備課、塩原支所産業観光建設課）で配布しています。

#### 配布場所

総合案内所、西公民館、狩野公民館、三島公民館、西那須野公民館、大山公民館、南公民館、運営協議会事務局 ※横林・接骨木地区のマップは西那須野支所産業観光建設課（運営協議会事務局）にて配布

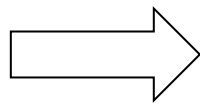
### ○「那須野が原西部田園空間博物館総合案内所」をリニューアルしました

那須野が原博物館を「日本遺産」の情報発信の拠点として整備することに伴い、総合案内所をリニューアルし、サテライトマップを見やすく改善しました。

田園空間博物館のサテライトについては日本遺産と重複する文化財が含まれており、日本遺産と連携をしていきたいと考えています。リニューアルした総合案内所をぜひご覧ください。



リニューアル前



リニューアル後

## 2 「那須野が原西部田園空間博物館運営協議会」について

西那須野地区の6つのコミュニティ（西、狩野、三島、中央、大山、南）と塩原の横林・接骨木地区（<sup>にわとこ</sup>横地区コミュニティ）と関係団体を主なメンバーとし、那須野が原西部田園空間博物館の管理・運営や様々な普及活動を行っています。

## 3 令和元年度の主な協議会の事業計画

- |              |  |
|--------------|--|
| 5月23日        | 総会開催   |
| 4月～5月        | サテライト写真展（那須野が原公園サンサタワー）                            |
| 6月～9月        | サテライト清掃活動（各コミュニティ）                                 |
| 7月27日        | ふれあいまつり会場にてPR活動                                    |
| 8月14日～21日    | サテライト写真展（那須野が原公園緑の相談所展示ホール）                        |
| 8月20日        | 広報誌「なすの大地」第34号発行                                   |
| 9月24日        | サテライト見学会   |
| 9月28日～10月4日  | サテライト絵画展（県庁展望ロビー）                                  |
| 10月19日～20日   | 小学生サテライト絵画展およびPR活動（西那須野産業文化祭会場）                    |
| 11月3日        | 博物館フェスタ（那須野が原博物館）                                  |
| 11月9日～10日    | なすしおばらまなび博覧会会場にて小学生サテライト絵画展およびPR活動（宇都宮共和大学那須キャンパス） |
| 11月17日       | 第16回那須野が原ウォーク（共催）                                  |
| R2年1月10日～19日 | 小学生サテライト絵画展（那須野が原博物館エントランスホール）                     |
| 1月29日～2月4日   | 小学生サテライト絵画展（那須野が原公園緑の相談所展示ホール）                     |
| 3月           | 広報誌「なすの大地」第35号発行                                   |



産業文化祭会場



なすしおばらまなび博覧会会場

## ◎参加者募集

### ①第10回小学生サテライト絵画展（令和元年9月～令和2年2月開催）

今年も博物館の対象地域内（西那須野地区、塩原の横林・接骨木地区<sup>にわど</sup>）の小学校の5～6年生を対象にサテライトの絵画を募集いたします。

ご応募いただいた作品は、前ページの日程で各会場に展示予定です。

（スペースの都合上、会場によっては一部作品のみの展示になります。）

ぜひこの絵画展をきっかけに、一人でも多くの方にサテライトを訪れていただき、田園空間博物館に興味をお持ちいただければ幸いです。

### ②サテライト見学会【9月24日（火）開催】

市内の主なサテライトや田園空間博物館にゆかりのある施設をバスにて巡回し、見学します。

下記のとおり、参加者を募集いたしますので、参加ご希望の方は裏面の事務局までお申し込みください。

なお、バスの座席には限りがありますので、定員になり次第募集を締め切らせていただきます。

#### 《募集要項》

開催日時：9月24日（火） 午前9時出発～午後4時解散予定

見学箇所：市内各サテライト及び関連施設（写真は過去に実施したのものです。）

移動手段：各サテライト間はバスで移動します。徒歩による移動もあります。

対象：市民（児童を除く） 募集人数：若干名 参加費：無料

集合場所：西那須野支所庁舎前駐車場

参加申し込み期限：9月11日（水） ※市の広報にて、同様の募集を行っております。



開拓苦難の石塚



津室川湧水地



西郷神社

### ③第16回那須野が原ウォーク【11月17日（日）開催】

那須野が原公園を中心に松方別邸、那須疏水探訪の小径、赤田調整池、サンサタワーなど周辺のサテライトを徒歩で巡る催しです。



松方別邸



那須疏水探訪の小径



赤田調整池

那須野が原公園、那須野ヶ原土地改良区連合、ホウライ株式会社、東京電力ホールディングス株式会社リニューアブルパワー・カンパニーとの共催になり、毎年多くの方にご参加いただいております。

9月に市の広報等で参加者を募集する予定ですので、興味のある方はぜひご参加ください。裏面の事務局までお問い合わせください。

## 「那須疏水」（世界かんがい施設遺産）以前の 那須野が原西部地区の湧水と小川あれこれ

### シリーズ 3 横接地区

#### 〔ひきぬまようすい 臺沼用水〕

臺沼用水は那須野が原で最も古い用水で、取入口は那須連峰の<sup>おおさび</sup>大佐飛山と<sup>こさび</sup>小佐飛山を源流とする川、<sup>さび</sup>蛇尾川の上流である<sup>おおさび</sup>大蛇尾川と<sup>こさび</sup>小蛇尾川の合流地点よりすぐ下の立岩に設置された。

この位置は、用水路を開削するうえでの地形上の理由から定まったこともあるが、最も大きな理由は、この付近より蛇尾川は水無し川（伏流河川）となるため、表流水の取水ができなかったことによる。

明治33年（1900年）の大改修で取入口を上流に移し、二つの素堀りトンネル取入口を設けた。この時、地元の郡司鶴吉氏が測量に携わったと言われている。

大正7年（1918年）には、取水口を10mほど下流に移した。昭和54年（1979年）には那須野ヶ原総合開発によって全面的に改修され、同年、数10m下流部に近代的取水口が新設された。

臺沼用水は西那須野地区を経て大田原に至る延長約20kmの用水で、慶長年間（1596年～1615年）に臺沼ほか4か村（折戸・<sup>おりど</sup>上横林・<sup>かみよこばやし</sup>横林・<sup>よこばやし</sup>接骨木）の<sup>にわとこ</sup>自普請（<sup>じふしん</sup>周辺地区で費用を負担した工事）によって開かれ一般に「接骨木堀」と呼ばれていた。

その後、石林まで延長され、「臺沼堀」と呼ばれるようになり、さらに明和8年（1771年）には、大田原藩によって大田原城下まで延長された。

これ以降大田原藩の管轄下におかれ「御用堀」と言われるようになった。

その使用目的は、水量が乏しかったこともあり、藩令によって飲用水に厳しく制限され、明治に入った後もその状態が続いた。

また、5か村のほか、関谷地域でも利用され、千本松の松方別邸でも利用された。

臺沼用水が灌漑用水として整備されたのは、明治24年（1891年）頃からで、幾度となく大掛かりな改修が行われた。戦後、国営事業として改修されながら、今なお現役のまま水田を潤している。

（文責：田園空間博物館 企画広報部会）



臺沼頭首工  
（萩平）



臺沼用水と那須疏水の立体交差  
（横林）



乃木神社境内を流れる  
臺沼用水（石林）



水路付替え工事記念碑  
明治34年3月建立（臺沼）

### 那須野が原西部田園空間博物館運営協議会

#### ◇発行・問合せ先◇

TEL 0287-37-5108（事務局：那須塩原市西那須野支所産業観光建設課内）

#### ◇HPアドレス◇

<http://www2.city.nasushiobara.lg.jp/denkuu/>

サテライトの紹介、当協議会のイベントなどはホームページでもご覧になれます。

※当誌は那須塩原市の公民館で配布しておりますので、希望される方は各公民館までお問い合わせください。